

第9次森町総合計画策定に係る町民からの意見募集実施に伴う提案一覧表

	提案内容(文字入力)	期待される効果、問題点や課題等(文字入力)	欄外
1	<趣旨> 寺社仏閣や名所旧跡を整備し、海外からの観光客を呼び込む。 <理由> ・森町には小国神社や山名神社等の舞楽、石松の墓がある大洞院や花々の綺麗な寺が存在する。 ・点在する旧家だけでなく古い街道に並ぶ町並みが存在する。 ・静岡空港からの距離は車で1時間ほどであり、町の入り口の一つとして新東名森町PAがある。 ・森町には天竜浜名湖鉄道が通り、小国神社へは駅からの定期バスがあるほか、森町内もバスが走っている。 ・豊田合成、ヤマハ発動機等の工場がある。 <提案> 静岡空港を利用して日本にくる外国人は27年10月だけで10万人を超えている。 http://www2.pref.shizuoka.jp インバウンド効果については、同空港ホームページ上の資料にある。 http://www.mtfuji-shizuokaairport.jp/media/4year-ura.pdf それを念頭に置き、町の中にある歴史的財産の価値を見直して外国人観光客の誘致としてはどうだろうか。 宿については空き家が目立つ上に旧家の管理・修繕の問題を「民泊」で解消できないだろうか。 ・森町1周コースを企画し、日本人も含め名所旧跡を気軽に観光出来るように仕向ける。 ・道の駅(新設)やことまち横丁で食事や買い物出来るようにする。 ・工場見学ツアーを企画する。 ・十二段家舞楽等の行事の時には特別観光コースを企画する。 ・神社、寺などの案内表示は日本語のほかに英語、中国語などの訳文を入れる。 ・観光ガイドを養成する。……等のハード面の整備が必要になる。	<期待される効果> ・民泊により、地元の農産物を消費できる。お茶については西洋人は苦手な人もいるので注意。 ・Facebook等SNSで森町の情報が世界へ拡散される一人を呼ぶ。 ・最大の狙いは、森町の住民が自分たちの住んでいるところの価値を再認識すること。 ・試算は個人レベルで出来ないものの、観光客が増えれば経済効果が高まる。 <問題点> ・個人で外国人観光客が来た場合、ネット環境(公衆無線LAN)、言葉の問題がある。 ・治安的なところ ・お年よりが多いので、外国人に対しての抵抗力については未知数。 ・表通りから見える廃墟の撤去。	
2	・子どもの医療費を無償にして欲しいです。また、子どもや妊婦のインフルエンザの予防接種をもう少し安くして欲しい。他の市町村ではすでに実地されていることもある為、森町は子育てしやすいという気持ちになります。 ・子ども連れて遊べる公園がもっと増えるといいと思う。つくる場所もしっかり考慮し、日当たり、人の多さ、安全性を見直して欲しい。すでにある遊具もずいぶん古いものがあるように見え、子どもがつかっていて本当に大丈夫かと不安に思うものもあります。 ・森町の婚活について、よくないうわさを聞きます。サクラのような方も混ざっているとか。役場の方が言っていたと聞きましたが本当でしょうか？ 申し込む方も不安になります。	子育てしやすい町は、人を集め、人を育てると思います。 「長寿の町」というのも大切だと思いますが、人口は減る一方になるのではないのでしょうか。人口を増加させることが課題だと思います。対策を対策をしないと19万人も下回ります。	

3	1.土地利用・基盤整備 中東遠地域での森町のあり方をさぐる。将来人口1万人を想定したユニバーサルデザインのまちづくり。都市計画道路は必要ない。天森橋の架け換え 2.生活環境 公衆トイレを併設した小公園を随所に。高齢者と子どもに優しいまちづくり。自分たちの環境は自分で護る。 3.福祉・医療 福祉施策の見直し。民生員はムダな金を使いすぎ、予算は半分で良い。研修に名を借りた物見胡散のバス旅行。旧態善とした自浄能力の欠如。高齢者一人暮らしの給食サービスは介護保険事業とダブリ。医療キットは(家族・相続人・保険委員)で管理 4.産業・観光 商店街など有りようもない。太陽が西から昇ってくるようなことを言っていては。小京都、どこの何を称して小京都というのか、お恥ずかしいその反応が怖い。かつての面影の偶像・亡霊(追えば夢い逃げ水)。前を向いて歩こう 5.歴史・文化 各中学校で先達の話を書く会(EX.北島恵介の・若者に伝えたいこと)等、温故知新「古きを活かして 新しきを創る」 6.教育・人づくり 力を注ぐべきだ。先生・社会人との対話<いじめ・将来の夢(職業)・戦争・震災>等、DVD可 7.健康づくり 自己(家族)責任 8.交通対策 一方通行を解除する。道路に段差があり歩きづらい。 9.その他 本当に必要なところに光をあて、身の丈に合った行財政を、現状の足元を見つめ直して、みんなで話し合い、行動に移す。		
4	(移住一年半) 1)(食事処、喫茶、ホームセンター、雑貨)が少ないのに不便と共にどこに行っても賑わいがない(夜は恐いほど静か) 2)道の駅みたいなまちの中心に(森の市近く)食事も楽しみ(ファミレス的)土産も(森の陶芸品、木工品、織物も)買いたくなり、コーヒータイムもと。 * 特定の人達だけが集まるのではなく子どもからお年寄りもおしゃべりできる場所 3)森町で産まれ学校を終え、大学、社会に出る時に森町に戻って働きたいと思わせる職場づくりが働き場所が必要。それには、企業の誘致が必要。(働く場所があれば地方で結婚、出産、家も建てる)多くの店も必要となり活性化に繋がると思う・・・交通(公共)も便利となる。 * 子ども達が安全安心健康ですごせるまちづくり・・・常に大人たちが見守り隊	文化も空気も土地もあり、自然災害も少ない本当に過ごしやすいところなのに夕方も土日も子どもの声がしない。若い人材の住みたい町にしたいって欲しい(若いも若きも共に助けたり助けられたり)	

5	* ケアラズcafé in 森町病院前駅 * ・認知症カフェとして、ケアラズカフェとして。 ・天浜線の特徴＝駅舎が店舗を新駅にも付与。 ・病院受診のついでにホットー息。 ・caféを目指して沿線市町から、悩みをきいてもらいに。 ・認知症のみならず、介護の悩み、相談、愚痴なんでも気軽にできる場として。 ○介護・医療の専門家 →町内事業者の協力(人員の協力)に対して助成 ○家族の会や、OB等の経験者 →もりもりポイント対象 ○リラクゼーションサービス など →なるべく低額で利用しやすく ○森町スイーツと飲み物は実費の利用 →町内菓子店の協力(在庫管理の排除)や作業所の協力 ・可能であれば、病院の開院日と同じ、月～金で開店したい ・生活支援コーディネーターや認知症地域支援推進員の設置場所として	●課題 ・経営主体をどこにするのか？ ・経営費用 ・人材の確保 ◎効果 ・町民の安心 ・介護のワンストップサービスの拠点 ・天浜線のPR ・町外からの注目＝先進例としての視察	
6	* 認知症見守りネットワーク * ・包括支援センターをコアとして、地域の福祉施設・介護保険事業所・民生児童委員、町内会や商店・事業所・学校などを「認知症の見守り隊」として組織化。 ・徘徊時の捜索のみでなく、普段の生活の中」で認知症の方を見守り、必要なサービスや社会資源へとつなげていく。 ・先駆的に取り組んでいる地域・市町と情報交換を行い仕組みづくりを行う。	●課題 ・ノウハウの獲得 ・人材の確保 ・地域住民のコンセンサス獲得 ◎効果 ・町民の安全 ・認知症を抱える家族がどこに相談したらいいのかが分かる ・地域住民も認知症やその家族に対して、どう接したらいいのかが分かる ・認知症があっても地域で暮らしを継続する可能性が広がる ・取り組みの視察による評判の流布	
7	* 要介護度改善に対するインセンティブ付与 * ・「お達者度NO.1」をまちのセールスポイントとして、介護保険の要介護認定の軽度化に対して個人・介護保険事業者を評価する。 ・個人：要介護度認定の更新において、介護者が軽度へ転じた場合に何らかのご褒美を進呈。また敬老会などで表彰する。 ・介護保険事業所：現在も「事業所評価加算」として存在しているが、加算の要件が介護度の改善のみとなっている。この評価をADLのみでなく、IADL、QOLの維持・改善状況も加味した仕組みを独自に導入する。インセンティブとしては、町のイベントでの表彰や認証付与、報奨金などが考えられる。	●課題 ・仕組みを検討 ・評価方法 ・介護度の軽度化による介護保険財源＞インセンティブとなるように設計 ◎効果 ・「お達者度」は今が売り時！たとえ、順位が下がっても「〇年度NO1」「NO1 奪取を目指して！」などなんとでもなります。 ・介護保険所業者のモチベーション向上 ・介護状態になっても諦めない風土の醸成	

8	新東名森町IC開通以降、円田辺りの土地開発利用の動きは全くありません。民間投資の前に主要土地は町側にて先行投資され土地利用を促進して欲しい。 具体的に、サークルKの向かいの空き地はウォーキングコースの休憩地、小国神社への近い駅として利用度は高いです。また周辺濃茶園も町営住宅着工候補地として、学校にも近いので便利だと思います。	住宅地造成で小字化への歯止めになるので、十分に投資効果はあると思います。	
9	1.町内を通行中の「観光バス」に手を振る運動の町ぐるみの展開 ・田畑からも歩行中でも、いつでもどこでも”手を振り”町民の歓迎の意を表す。 2.”ようこそ森町に””森町にまた来てね”の「のぼり旗」の設置 ・5本連組み/ヶ所ぐらいのもの ・IC付近や行政区域境、町内主要道路沿い等の各所に設置 ・商工会、各団体、企業等々の協力・支援により作製	観光客増に、即効性はないが、“町ぐるみ”で一つの行動ができれば、他の行動へも波及効果がでる。(町政と町民の一体感にも繋がる?)	
10	役場から言えまで約2. 2Kmですが5分くらいです。 正月など小国神社へ行く車が多く家へ帰れません。対策を色々お願いしましたが改善されません。 同じ町民なのに不平等です。もう少し地元の声をきき無理のない改善をお願いしたい。 白線が消え対向車との事故などがある。 整備して一方通行に。帰りは今までどおりに。	交通の便が良くなる整備にお金がかかる。 陣屋峠から町と橋では全く違います。 町民の声を聞いて欲しいと思います。	
11	<提案理由> 森町が「小京都」をこれからも標榜していく方針であるなら、小京都にふさわしい中心市街地の整備が必要である。 何が一番欠けているのか？ 全国で小京都と呼ばれているまちに中心部に清流の流れていない町はない。 この町では車の利便性のために昔流れていた水路をほとんどコンクリートで蓋をしてしまった。 <提案> ”水路の復活”町中に清流を流すこと。蓋をはずす。 水源は農業用水の活用。右岸の冬季水利権を0.3m から灌漑期並の0.6m に増強する様、県と折衝すること。	・「小京都」を掲げる観光都市として最小限の条件ができる。 ・火災害時の第二水源として防火に必須(第4次予測では南海トラフ地震の際の火災発生件数は全町で500件！)	大田川の水は西進、中進地区の水道としてはほとんど使われていない。 無用の長物大田川ダム(川の荒廃の原因になっている)のために0.3mの水利権が使われているのを県と均衡して右岸農水のために取り戻す。
12	墓の話です。東京都世田谷区、杉並区では、ドーム型の納骨堂をもうけて、1人20～30万円に入れるそうです。さきに募集してお金を集めてつくつたらいいと思います。 墓を守る人がいなくなっています。子どもも少ないし、若い人は墓のことは面倒と思います。今は海にまいたり、山にまいたりしています。寺にいても駐車場が少ないです。 テレビでは今はインターネットでお坊さんが来てくれるそうです。葬式代がかかるので安くしてどこでも行くそうです。お経だけだと3万円で戒名代は3万5千円2つ合すると6万5千円だそうです。インターネットで頼むと近くの寺のお坊さんが1人行くそうです。近辺から募集して一度考えて下さい。 掃除はシルバーに頼めばいいと思います。町内の土地利用して。		

13	学校教育・生涯教育に宇宙の真理・法則の学習を取り入れた人づくり。 この世の中(地球人類含む宇宙すべて)は諸行無常:全てのもの・出来事は常に同じ状態を保っている事ではなく常に変化しているという事(これは宇宙の真理・法則なので人間の時間で見るとは宇宙の時間で見ると必要があります。大きな岩や山でさえ長い年月がたてば形が変わってくるのです)、諸法無我:すべてのものは個(そのもの単体)で存在しているのではなく、全てのものに関わりを持って存在している(係りの度合いの強い弱いはありません。野菜を作ってくれる人達がいて、それを売ってくれる人がいるから私たちはそれを買って食べることが出来ますし、土があり、雨雲が雨を降らせてくれ宇宙の太陽が日光を注いでくれるおかげで作物が育つように人や自然宇宙にまでも関わりを持っています)。この二つをしっかりと認識したうえで、十如是:全てのものには相があり相にふさわしい性(性質)を持っていて、それらにふさわしい体(本体)を持ち、そして力を持っています。その力は他へ作用(影響)を及ぼします。この相・性・体・力・作を一つの因として縁(機会・条件)によって他の因と触れ合う時、それぞれの因の相・性・体・力の作用により結果が生じます。その結果が報いとして、それぞれの因に戻る。このことの繰り返し(循環)により、今この現状がある。という法則(方程式)を理解してもらって教育をそれぞれの年齢(学年)の理解力に合わせて取り入れて頂くことを提案いたします。	今は、利益優先、経済優先、文明優先が強調された世の中になり、利益のためなら人を陥れたり、蹴落としたり、人命を粗末に扱う風潮にあり、そのためぎすぎすとして住みにくい世の中になりつつあります。上記提案のようにこの世の真理法則を学び会得することで明るく優しく心温かい人格が形成され、十如是の方程式を判断基準にすることで、正しい判断を導き出せる人づくりができます。それにより全てにおいて住みよいまちづくりができてきます。	
14		斜線の部分約50m位道路幅狭く歩行中、車との擦れ違い困難危険です。道路の幅員拡張を望み提案します。	
15	人口減少が問題となっている、今、当面において人口減少の一途を辿っています。この対策として昨年10月森町人口ビジョンが出され今後の対応策が出されましたが、そのためには、町外からの人の流入を図るための工場誘致はもちろんのこと、学校(大学・専門学校)や施設の誘致を図ることが必要だと思います。特に学校は若者が多く入ってきます。森町に来ることによって町の良さを感じ、それにより定住を考えるものも出てくると思います。昨年出された総合戦略の中にもありました、大学との連携強化のよる地元定着はもちろんのことですが、それにも増して学校を誘致して若者を町へ呼び込むことを考えて欲しいと思います。3年ほど前にある大学の学生が”森町に学校をつくる”という構想を出されたことがありました。まさにそれが必要だと思います。ぜひ実現をお願いします。	学校誘致のための環境づくり。	
16	現在森町町内には、耕作放棄地があると思います。これからは、このような土地がさらに増えていくばかりです。 このことから、荒れた土地の有効利用を考えていかなくてはならないと思います。今は農地法のしほりによって、農地以外に有効利用をしようと思っても出来ない状況です。このような状態では何も対応できません。荒れてしまっとうしようもない所、今後耕作する見込みのない土地については特別に転用できるようにして欲しいと思います。(状況に応じた弾力的な対応)そうすれば、そこは他に有効利用が出来ると思います。例えば太陽光発電の利用、他には住民が気軽に利用できる憩いの施設、公園等さらには子どもの遊べる広場、利用方法は色々あると思います。昨年10月に出された町の総合戦略の中にも遊休墓地の有効利用促進がうたわれているので、積極的な取り組みをお願いします。	(問)農地法の考え方(農作物は作れるところでしっかり作る、創れない所は他に有効利用する)	

17	・三倉小学校は複式学級かと思います。 ・天方小学校もそうなると聞いていますが、いずれ孫が小学校に上がりますが、私は孫は森小学校に通学させたいと思います。自習時間が多い正味半分しか授業がされない様な方法では学習効果が半分です。 ・三倉も天方も森小学校に通わせ、教職員の給料や学校管理費がなくなれば、三倉方面、天方方面と通学車両を準備できると思います。 ・通学車両がむりなら家族の送り迎えでもして、森小学校に通える方法をOKさせていただきたいと思います。	効果・個人個人に十分な教育を受ける機会を与えてほしい 問題・地区、または父兄家族により近くの学校に通わせたいと思っている人もいますかもしれません。	
18	土地利用計画の見直し(住宅団地の造成) 森町の人口は、減少が続いており、特に北部中産間地域の三倉、天方地区は、昭和40年と平成22年の国勢調査の比較では、三倉地区が3分の1、天方地区が2分の1程度に減少しており、多くの方が袋井市に移転されている。 地方創生関連法等により、大規模農地転用(4ha)の許可権限が国から県知事の許可となりました。森町でも土地利用計画を見直して、農地転用規制を緩和し、住宅団地の造成が可能地を調査すると共に、個別案件についても節度ある宅地転用を進め、人口の流出を止める必要があります。	・人口の流出を止めるとともに、都市部から人口流入を図る。 ・住宅団地造成の場所(地区)の選定、事業主体、売買価格等	
19	秋葉線、バス運行について。 一日の運行時間内において乗車人数が1人～2人と少ない乗車の利用でも大型のバスで運行している。 利用時間を考えてバスの小型化をする。 運行本数はあまり減少するのは問題である。	学校登下校時は現状通り、日中平常時は小型化をしていく。	
20	新しい森川橋が出来ました。花壇を設置してはどうか。プランターの作製。森町は木材が豊富に有ると思います。かんばつ材の利用。	最近では早朝ウォーキング、他地方からも観光客が多数見受けられる。橋の景観が良くなる。花壇の管理はどうするか？水、花の植え替	
21	100サロンについて、森町地区内で公民館を利用して、高齢者の集いを行っている。地区によっては、参加者が2人～3人しかないサロンもある。各地区には高齢者が多数居ると思う。家にこもっているのではないかな？ 現在は1ヶ月に1回では有るが、家に閉じこもっているのであれば、公民館に出掛けて、体操、歌、ゲーム等をやると健康づくり地域のみならずコミュニケーションをとることが出来る。	・身体 の健康作り、コミュニケーションがよくなる。 問題点 ・内容の充実 ・情報が少ない、回覧をだす。 ・内容的に魅力がないのか？	
22	④旧さざんか荘の跡地を「小京都の一望出来る景勝地に復元する」・・・パノラマ地図看板も設置し、下道路の入り口付近にも『その案内板』を設置し、観光に役立てたい。 ⑤町内各所の「石碑」の大半に『説明・案内』の看板がないために、歴史的な価値が眠って居ます。 出来るものから(価値観の高い物から)説明案内版を隣に建てて「歴史・文化的価値を高め、観光にも生かすべき！」と思います。	小京都らしさのグレードアップ！歴史的、文化的・・・価値観(内外共に)	

23	①農業や自然を活かした体験型中心の観光により、来町者を増やし、森町産の おみやげ等を買っていただく仕掛。〈例：干芋作り、芋柿作り、しめ飾り作り、わら細工（宝船など）、野菜作り、こんにゃく作り、みそ作り、ハム作り〉 ハイキング等と組み合わせ、森町のいい所も見ていただく。 ②笹ゆりの山、すすきの原等、美しい自然が見られる場所を整備する。 ③おいしいお茶と森町のお菓子等を食べ、ゆっくり休める場所（店）作り、観光案内もする。 ④「遠州小京都、森町の贈り物」の勧め、宣伝。 お中元やお歳暮等には、森町産の物を送る。例：柿、トウモロコシ、米、栗、野菜、しいたけ、お茶、手作り菓子、みそ、金山寺、甘酒、ハム、ジェラート、ワイン		
24	森町にはお菓子店やお茶屋さんが数多くあるのに、宣伝が少ないというか、アクティ森が警察署ぐらいにあるといいけど、東名PAでイベントしてみるのはどうでしょうか。地元の人だけで満足しているのはもったいないです。小京都をもっと広めて欲しいです。お祭りのおはやしでDVDを流したり、外に向けて欲しい。	・観光客が増えれば、森町もうるおって来る。 ・色んな人が入る事により、事故も起きやすくなる。	
25	・森掛川ICから西へ500mのバイパス沿いに中規模の土地が有り、商業用の土地として利用したいと思っています。 ・内陸フロンティアに計画されていると思いますが、早期に農地転用してもらいたいと思います。 ・スピード感を持って行ってもらいたいです。		
26	「移住者の相談窓口をつくる。」 NPOを立ち上げたいが、方法と協力いただける人の集め方がわからない。		